

日本分析化学会九州支部 2014 年度 第一回常任幹事会

日時：平成 26 年 6 月 21 日(土) 13 時~15 時 30 分

場所：九州大学農学部 4 号館 610 号室

出席者（敬称略・順不同）：松井 利郎、肥後 盛秀、井上 高教、佐藤 正雄、田嶋 晴彦、原田 明、井倉 則之、田中 充、大森 保、甲斐 雅亮、大浦 博樹、河津 博文、塩路 幸生、高椋 利幸、竹原 公、西田 正志、原田 雅章、森 健、山田 淳

## 議題

### 1 報告

#### (1) 本部・支部連絡会議報告（松井支部長より）

松井支部長より、添付資料 1 に従って、本部・支部連絡会議報告がなされた。以下に、特記事項を列記する。

- 年間・討論会の開催順について、本部主導による年会・討論会が追加され、支部担当は 8 年に一回の開催となるとの報告がなされた。
- 年会・討論会における本部企画について、ASAS（2014 広島年会より）が企画され、福岡年会でも是非とも開催するように寺前会長からの依頼がなされている。（一日半は行うようにして欲しいとのこと）また、開催にあたって、旅費以外は全て招待（年会負担）となることが加えて報告された。
- 産業界 R&D シンポについて、今後の年会においても常時開催するよう寺前会長より依頼がなされたことが報告された。
- 支部・研究懇談会からの要望事項として、支部長の任期について（任期を 2 年とすることで、理事との兼任が可能となる）の議論がなされ、九州支部としては、現状のまま 1 年の任期としたいとの回答をしたとの報告がなされた。
- 会計方法に関して、本部の会計状況が非常に厳しい状況であることが報告された。また、会計処理方法として、今後は現金分出納も記載する出納帳（エクセルファイル）で管理するようになったことが報告された。各事業終了後には、事業完了報告書を提出するようになったことが報告された。
- その他として、本部収入確保のため、学会誌の電子化を将来図っていくことが報告された。

#### (2) 理事会報告（甲斐本部理事より）

甲斐本部理事より、添付資料 2 に従って、理事会報告がなされ、特に下記の点について報告がなされた。

- 本学会の財政状況が非常に厳しいため、本部主導による年会・討論会の開催を首都圏で行うことにより、運営の効率化及び学会の活性化を図ることを目的としている。
- 資料 P141~に記載されている課税対象について、説明がなされた。（日本人と外国人講師（在留ではない）とでは、源泉徴収額が異なること、講師の滞在費・交通費・食費については、学会が当該施設に直接支払いを行い、領収書をとった場合には、源泉税の対象とならないこと、等）
- 学術集会の参加料収入および広告費に対する課税、について、井上先生より質問がなされ、各事業（夏

季セミナー、分析化学講習会、年会等)の参加料収入および広告費が課税対象となるかどうかについて、確認する必要があるとのことで合意した。(後日、会計の田中より本部に確認)。

- 添付資料 P175～に記載されている「分析化学」誌掲載論文の不備指摘投書に関する編集委員会の調査報告について説明がなされた。

### (3) 九州分析化学若手の会

#### 春の講演会

九州分析化学若手の会第 27 回春の講演会 世話人である野間先生より提出された報告書に沿って説明がなされ、参加者数は 91 名であり、盛会にて終了したことが報告された。また、当講演会の会計報告書及び事業完了報告書についても承認された。ただし、収入の部における広告収入に関する消費税については本部へ確認する。

#### 夏季セミナー

第 32 回九州分析化学若手の会夏季セミナーについて、世話人の森先生より説明がなされた。参加者にはまだ余裕があるので、積極的な参加依頼がなされた(詳細は支部 HP に貼ってあるリンクより、専用 HP へ)。

### (4) 分析化学講習会

第 55 回分析化学講習会が、九州大学大学院 薬学研究院の浜瀬先生を実行委員長として、8 月 6, 7, 8 日の 3 日間で開催される予定であることが報告された。

### (5) 各誌編集委員会

#### Analytical Science

編集委員の中野先生が欠席のため、資料 5-1 が配布され、昨年度まで採択されていた科研費が、今年度は不採択となったことが報告され、次年度に向け引き続き努力するとの報告がなされた。

#### ぶんせき

編集委員の高椋先生より添付資料 5-2 に沿って説明がなされた。特に、次年度の特集のトピックが、①レギュラトリー、②表面・界面、③バイオ、④大気の 4 テーマを候補として協議していることが報告された。

#### 分析化学

編集委員の呉先生が欠席のため、添付資料 5-3 が配布され、年間特集テーマのキーワードならびに総合論文執筆者の推薦があれば、編集委員まで知らせて欲しい旨報告された。

### (6) 第 51 回化学関連支部合同九州大会

6 月 28 日(土)に開催される化学関連支部合同九州大会では、当支部からは、九工大院工 竹中先生に講

演を依頼しており、座長を原田明先生にお願いしていることが報告された。また、九州分析化学ポスター賞の審査を資料に記載の 12 の名先生に依頼していることが合わせて報告され、了承された。

#### (7) 機器分析ワークショップ

6月17日(火)九州大学、18日(水)鹿児島にて、機器分析ワークショップが開催され、九州大学開催分は60名(満席)、鹿児島開催分は24名と非常に盛会にて終了したことが報告された。

#### (8) その他

日本分析化学会(本部)の役員等候補者選考委員会委員への推薦について、九州支部からは、理学 蔵脇淳一(鹿児島大学)、農学 井倉則之(九州大学)が委員に選任され、業界 岡島敏浩(佐賀県地域産業支援センター)が補欠委員であることが報告された。

## 2 議案

### (1) 支部役員の変更

添付資料8に沿って、支部役員の変更が説明され、全て承認された。さらに第一薬科大学 高館先生、福岡大学 脇田先生は本部の永年会員に推薦されたことが報告された。

### (2) 九州分析化学会賞及び奨励賞

2014年度九州分析化学会賞及び九州分析化学奨励賞の受賞選考委員長である新留先生(幹事会は欠席)より送付された添付資料9が配布され、松井支部長が代理で説明され、候補者全員の受賞が承認された。また、前野氏の年齢が選考基準(H26.4.1 現在 満30歳、規程：満30歳未満)をはずれていたが、本奨励賞が、九州を拠点とする若手の分析化学者の研究活動を活性化するものであること、表彰規定には、「原則として、・・・」と記載されていること、並びに応募件数が3件であったことから、支部長判断にて選考対象としたことが説明され、承認された。

### (3) 支部幹事会・講演会・見学会

九州支部の幹事会・懇親会、講演会・見学会を、例年通り11月に予定しており、見学会は福岡市保健環境研究所の佐藤様にご尽力頂き、福岡市保健環境研究所を見学させて頂く予定であることが報告された。日時、場所等の詳細については、後日ご案内させて頂くことも合わせて報告された。

### (4) 日本分析化学会第64回年会の開催について

日本分析化学会第64回年会の委員長である山田先生より、実行委員リスト(1次案)が配布され、リストに記載されている先生方へ実行委員への協力依頼がなされる予定であることが報告された。会期は、平成27年9月9-11日とし、伊都キャンパスにて開催予定であることが合わせて報告された。11月開催予定の支部

幹事会に合わせて実行委員会を開催予定であることが報告された。

(5) その他

共催・協賛事業について

- 2013 年度において既に承認されている「The 19<sup>th</sup> International Conference on Flow Injection Analysis Including Related Techniques (ICFIA2014)」への共催について報告がなされた。
- 「第 37 回溶液化学シンポジウム」への共催について、報告がなされた。